

# 茨城大学公開特許

発明の名称	生体組織接着用柔軟性金属箔テープ及びその接着方法
出願番号 公開番号 登録番号	特願 2010-229738 (2010.10.12) 特開 2012-081061 (2012.4.26) 特許第 5636857 号 (2014.10.31)
学内発明者	尾関 和秀 / 増澤 徹 / 岸田 晶夫 / 加藤 綾子
技術分野	ライフサイエンス
発明の概要	<p>【課題】 生体組織の疾患部又は損傷部を治療するために、熱、振動及び圧力の少なくとも一つを付与して接着を行う際に使用する接着用ステントとして、生体組織に対してずれることがなく、短時間で効率的な接着を行うことができ、且つ、生体組織に対して従来よりも優れた接着性を有する生体組織接着用柔軟性金属箔テープ及びその接着方法を提供する。</p> <p>【解決手段】 生体組織接着用柔軟性金属箔テープは、熱、振動、及び圧力の少なくとも一つを付与することによって生体組織と接着させるために用いられるものであって、厚さが <math>5 \sim 300 \mu\text{m}</math> で、前記生体組織との接着面の表面粗さが算術平均粗さ (Ra) で <math>0.05 \sim 5.0 \mu\text{m}</math> である金属箔からなることを特徴とする。</p>
説明図	<p style="text-align: center;">図 1</p>